

阪神・淡路大震災30年

1995.1.17

— 神戸大学震災犠牲者の追憶 —



2024年 10月24日(木) — 2025年 1月31日(金)

(12/28-1/5 休館)

*平日のみ開催

【特別開催日】

10/26(土)、10/27(日)、
11/9(土)、11/10(日)、
1/11(土)、1/12(日)開催

時間／平日 9:30-17:00

(特別開催日は、10:00-16:00)

入場無料

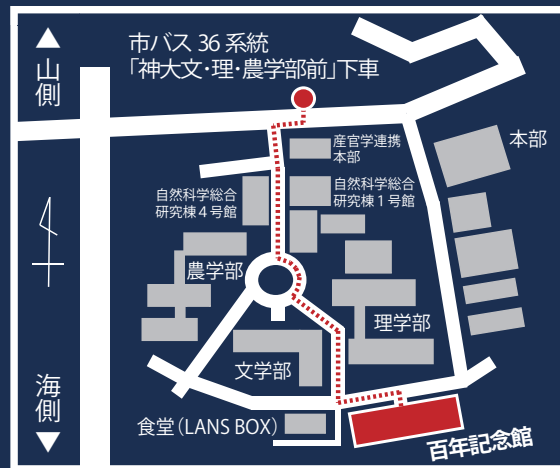
場所／神戸大学百年記念館 1階
展示ホール

[交通案内] 阪神「御影」駅・JR「六甲道」駅・阪急「六甲」駅から
市バス36系統「鶴甲団地」又は「鶴甲2丁目止り」行きに乗車、
バス停「神大文・理・農学部前」下車、南へ徒歩約5分

主催／神戸大学 大学文書史料室

お問い合わせ先／電話：078-803-5035

E-mail：archives@lib.kobe-u.ac.jp



1995.1.17

— 神戸大学震災犠牲者の追憶 —

阪神・淡路大震災から30年の節目を迎えるに当たり、震災で犠牲となった神戸大学の学生・教職員47名（旧神戸商船大学の犠牲者6名を含む）を振り返り、肉親や友人等を亡くした方々の無念の思いに触れ、悲惨な震災の実態を取り上げます。皆様のご来場をお待ちしております。



▲「兵庫県南部地震 神戸大学犠牲者合同慰霊祭」

1995(平成7)年3月17日、神戸大学六甲台講堂にて挙行された同大学犠牲者41名の合同慰霊祭の様子。



▲「阪神・淡路大震災 神戸商船大学犠牲者合同慰霊祭」

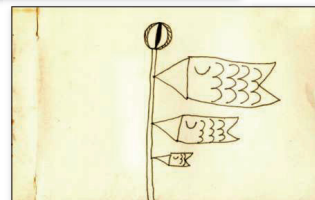
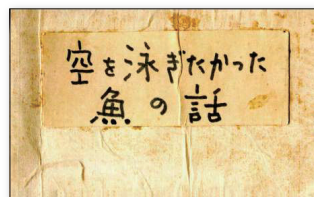
1995(平成7)年3月17日、神戸商船大学講堂にて挙行された同大学犠牲者12名(名誉教授、学校医、家族を含む)の合同慰霊祭の様子。ご遺族による献花が行われている。



▲ 工藤純さんのワープロ(遺品)

震災で犠牲となった工藤純さん(大学院法学研究科1年、23歳)の遺品。地震直後に愛媛県から駆けつけた母・延子さんが、救援活動中の自衛隊員にお願いして、倒壊した純さんのアパート(神戸市東灘区田中町)の下から取り出してもらったもの。生前の純さんは、このワープロを「宝物」と呼んで大切にしていた。

(人と防災未来センター資料室所蔵)



▲ 上野志乃さん制作のパラパラ絵本『空を泳ぎたかった魚の話』(遺品(複製))

震災で犠牲となった上野志乃さん(発達科学部2年、20歳)の遺品(複製)。生前の志乃さんが大学の課題で制作したパラパラ絵本。佐用町から駆けつけた父・政志さんが倒壊したアパート(神戸市灘区琵琶町)で見つけた。

(神戸大学附属図書館震災文庫所蔵)



兵庫県南部地震 神戸大学犠牲者慰霊碑

▲ (上)「兵庫県南部地震 神戸大学犠牲者慰霊碑」、(下)同碑標識の揮毫

本学震災犠牲者の慰霊碑。制作は小林陸一郎氏(当時工学部非常勤講師、京都精華大学美術学部長)、標識の揮毫は多淵敏樹副学長(当時)、1996(平成8)年3月15日除幕式挙行。毎年1月に同碑の前で慰霊献花式が挙行されている。



▲ ミャンマー留学生の慰霊碑

震災で犠牲となったミャンマー留学生 WAI MOE LWIN さん(国際文化学部研究生)の慰霊碑。「日本国 神戸大学院留学中 阪神大震災にて 不慮の犠牲者となる」の墓碑銘が刻まれている。ミャンマーのヤンゴン日本人墓地にある。

(Thin Aye Aye Ko 氏提供)